



学校だより

バンクーバー補習授業校

2026年度

第11号

2026・9・29

挑戦の先に見つけた新しい自分 ～ 令和8年度 第2回キャリア講話 ～

本校のキャリア講話は、中学部・高等部の生徒を対象に、令和6年秋にスタートし、今回で通算8回目となります。日本とカナダの双方に目を向け、さまざまな分野で活躍する方々のお話を伺うことを通して、生徒たちが自分の将来や生き方について考える機会として実施してきたものです。

9月19日（土）、令和8年度第2回キャリア講話を実施しました。今回は、H.I.S. Canada Inc. Branch Managerの村武 律先生を講師にお迎えしました。



講話では、旅行会社の仕事について、「誰に、どのような感動体験を届けるのか」を考える企画と、それを実現するための手配という視点から、具体的に紹介していただきました。また、学生時代の経験や進路選択、仕事のやりがいや苦勞、人生の転機についても、ご自身の歩みを交えながら率直に語ってくださいました。

先生の講話の中では、これまでの人生で訪れたいくつかの転機において、迷いや不安を抱えながらも、その都度、まず一步を踏み出してきたことが印象深く語られました。そうした一つ一つの選択や挑戦が、新たな出会いや経験につながり、現在の仕事や生き方へと結び付いていることを、生徒たちも感じ取ったのではないかと思います。

生徒たちは、心に残った言葉や自分にとって大切だと感じたことをワークシートに書き留めながら耳を傾けました。講話後には小グループで感想を交流し、その後、「講話から学んだこと」を発表し合いました。話を聞いて終わるのではなく、自分自身に引き寄せて考え、友達と考えを共有しました。

生徒たちの振り返りからは、失敗や迷いを恐れず一步踏み出すことの大切さや、自分とは異なる人生経験に触れることで、自分のこれからを考えようとする姿がうかがえました。

人生の先輩の経験に耳を傾け、そこから自分なりに考えてみる。キャリア講話で学んだことが、生徒一人一人にとって、自分の未来を考え、新たな一步を踏み出すきっかけとなることを願っています。

ご多用の中、本校生徒のために貴重なお話をしてくださった村武律先生に、心より御礼申し上げます。



参加生徒の感想から . . .

○ 高校生のときにアメリカに留学した経験をもとに、英語という道具を使って文化人類学を学び、ものごとや文化のとらえ方（価値観や世界観）を深く考えて来られたからこそ、現在、「誰かの世界（観）を広げられる」お仕事に結びついてるのだと思い、素敵なお話を聞くことができたなあと思いました。学生のころからいくつかの決断をして、自分のやろうと思ったことにまっすぐにさまざまなことにトライしてきた経験があるからこそ、「好きなことは、やってみないとわからない」という言葉の重みが伝わってきました。「そこまで深く考えず、目の前にあるものをただ一生懸命にやっていた」とおっしゃるのを聞いて、自分も落ち込むこともあるだろうけど、頑張ろうという気持ちになることができました。

○ 僕も英語をマスターして、英語を「ツール」として使えるようになりたいです。そうするためにも先生のようにいろいろなところへ行き、いろいろなものを見たいなと思いました。好きなことを見つけるのは大事だけれど、好きなことが見つからないことにプレッシャーを感じる必要はないと分かり、安心しました。先生のお話を聞いて、「〇〇をしたい」という気持ちが大事だなと感じました。「これはやりたくないから」とか、「下手だから」とか、そういう理由でそれにチャレンジしないのはとてももったいないことだと思いました。



○ 今回のお話を聞いて、さまざまなことに嫌がらず自分で進んで挑戦してみたいと思いました。私は、新たなことに挑戦するのは苦手です。でも、今回、先生のお話を聞いて、私も先生のように、何でも自ら進んで新しい事でも、嫌がらずとりあえず試してみようと思います。先生の「無理に好きなことを見つけなくていい」という言葉に少し心が救われました。私は、今まで「早く仕事にできる好きなことを見つけたい！」と思っていました。しかし、先生のおっしゃるとおり、

それはプレッシャーでしかなく、ただ重圧を感じるだけでした。私も少しずつ、さまざまなことに挑戦して、好きなもの、好きなことを探して行けたらいいです。

○ 「好きなことはやってみて初めて分かる」という言葉がとても印象に残りました。今、明確な好きなものがないからこそ、今のこの環境がくれる機会などを大切にしていきたいなと思いました。何ごととも無駄だったことはないという言葉からも、失敗を恐れずにさまざまなことを経験してみることが大切だなと思いました。また、先生はこれまでの人生で、たくさんの出会いや挑戦を経験し、から、今はマネージャーとして会社を大きくするという目標にまでなっていることがすごいと感じました。そして、旅行業界について、世界が平和でないと成り立たない「平和産業」ととらえ、自分たちが企画した旅行をとおして平和を願っているところが、私には考えにくく、すごいなと思いました。今日の講話をとおして、これから今の環境が与えてくれるさまざまな機会に、前向きな気持ちでたくさん挑戦し、自分なりのやりがいなどを見つけられるといいなと思いました。

